

## サイエンスカフェの概要について（事後報告）

1. 開催日時：平成 30 年 11 月 10 日（土） 15 時 00 分～16 時 10 分
2. 開催場所： 三省堂書店神保町店本店 2 階 UCC カフェコンフォート
3. 関係団体等：日本農芸化学会、三省堂書店
4. 役割  
挨拶：加藤久典（東京大学 特任教授・日本学術会議連携会員）  
司会：西川 拓（毎日新聞社科学環境部）  
講師：田野井慶太郎（東京大学大学院教授）

### 5. 概要：

2011 年 3 月に発生した大地震に伴い、福島第一原発から大量の放射性物質が環境中に放出された。農産物を生産する環境が一様に放射能汚染された状況下において、食の安全についての懸念が広がった。本サイエンスカフェでは、「原発事故から 7 年、福島の農作物は大丈夫？」というテーマで、震災から 7 年経った現在に至るまでに福島県で生産される農産物の安全確保にどのような努力がなされてきたか、また安全性についてどのような合意が形成されてきたかを、資料（別紙）に基づいて幅広く紹介され、参加者からの活発な質問があった。

### 6. 参加人数：

講演者等：4 名

その他の参加者：18 名

### 7. 特記事項：

福島県からの参加者など実際にこの課題に深く関わってきた参加者も多く、また様々な立場からの質問や意見があり、サイエンスカフェとしての意義は大きなものであった。